

2026 年度（2025 年度実施）共同教育学部総合型選抜における
「選抜のイメージ」について

社会 専攻

< 1. 面接 >

面接問題 1 では出願書類を参考に、教員としての適性をはかる試験を行い、面接問題 2 では社会専攻で学ぶために必要な資質・能力をはかる試験を行います。それを受けて①社会科という教科の理解、②教職を目指す意欲・適性、③社会専攻で学ぶ上で必要な思考力・論理的説明能力などを総合的に判断します。

< 2. 小論文 >

- ・社会専攻で学ぶ上で、必要な思考力を問う内容を出題します。
- ・教職を目指すために必要な基礎学力、論理的な思考力、それらを的確に表現する力および他者に伝えようとする意欲を問うことを主な目的とします。
- ・評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - ① 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - ② 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - ③ 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。

2026 年度（2025 年度実施）共同教育学部総合型選抜における
「選抜のイメージ」について

数学 専攻

< 1. 面接 >

- ・個人面接あるいは集団面接を行います。面接の所要時間は、個人面接を実施する場合は 10 分程度、集団面接を実施する場合は 20 分程度です。
- ・面接は、主に提出された調査書、自己推薦書（共同教育学部数学専攻志願者用）をふまえて行います（基本的な数学の知識を問う口頭試問を含みます）。自己推薦書（共同教育学部数学専攻志願者用）には、これまでの学びの中で興味深く思った数学的内容（例えば数学的概念、定理、公式など）とそれに興味を持った理由を記載してもらいます。数式や図などを用いても構いません。
- ・算数・数学科を専門とする教員としての資質と適性、思考力、表現力、教育への関心と意欲等を評価します。

< 2. プレゼンテーション >

- ・「総合型選抜学生募集要項」において事前に提示する数学の課題の中から試験当日に指定する部分について発表いただいた後に、質疑を行います。
 - ・プレゼンテーションは一人ずつ行います。
 - ・プレゼンテーションの実施時間は 15 分程度（発表時間 7 分程度、質疑応答 8 分程度）を予定しておりますが、状況に応じて変わる場合があります。審査の公平を期すため、発表時間が大幅に延長されるような場合は途中で止めることがあります。
 - ・事前及び当日の発表資料の提出は求めません。
 - ・直接、ホワイトボードあるいは黒板（マーカーやチョークは 3 色使用可）に書きながら、面接官に向けて発表いただきます。
 - ・スマートフォンやタブレット端末等の電子機器類の発表中の使用は認めません。
 - ・発表の際に自身が確認するためのメモ（A4 用紙 1 枚、両面使用可）を持ち込んでいただいても結構です。
 - ・算数・数学科を専門とする教員としての資質と適性、思考力、表現力、教育への関心と意欲等を評価します。
- ※プレゼンテーションの問題（数学の課題）のイメージは別紙を参照ください。

(別紙)

総合型選抜 数学専攻におけるプレゼンテーションの問題 (数学の課題) のイメージ

- (1) 「関数 $f(x)$ が $x = a$ で連続であること」と「関数 $f(x)$ が $x = a$ で微分可能であること」の定義を述べたうえで、関数 $f(x)$ が $x = a$ で微分可能ならば関数 $f(x)$ が $x = a$ で連続であることを証明せよ。
- (2) 極限 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin^2 x}{x|x|}$ を調べよ。
- (3) r を定数とし、関数 $g(x)$ を

$$g(x) = \begin{cases} |x|^r \sin^2 x & (x \neq 0) \\ 0 & (x = 0) \end{cases}$$

により定める。次の条件 (P) が成り立つための、定数 r の範囲に関する必要十分条件を答え、その根拠を述べよ。

条件 (P) 「関数 $g(x)$ が $x = 0$ で連続であり、かつ関数 $g(x)$ が $x = 0$ で微分可能でない。」

※ 2024 年度群馬大学学校推薦型選抜入試問題の改題

添付資料一覧を別紙で添えてください（様式自由）。

・複数名が関わった内容について発表する場合は、受験生自身が担当した部分ができるように説明を書いた別紙を添えてください（様式自由）。

(2) プレゼンテーションの詳細について

・数名ずつでのグループ活動を実施します。グループ活動では、1名ずつ10分程度のプレゼンテーションを行い、その内容についてグループ内の他のメンバーと質疑応答を行います。

・プレゼンテーションで求める発表内容は以下のとおりです。

①これまでに行った『探究活動』に基づいてテーマを1つ設定し、そのテーマについてのプレゼンテーションを行います。

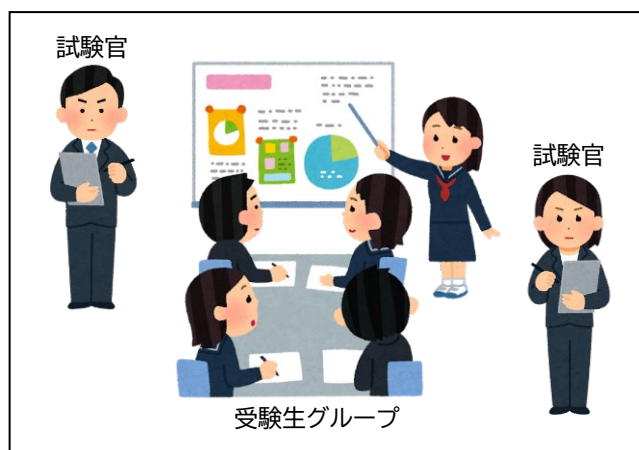
②『探究活動』には、「総合的な探究の時間」における活動の他、学校内外で行った課外活動など、さまざまな機会における活動を含めて構いません。

③受験生自らが主体的に取り組んだものであれば、グループでの活動や部活動で長年継続して行っている調査・研究など、複数名で取り組んだ『探究活動』も対象とします。

④テーマは厳密な意味での「理科」および「科学」に限定しません。

・各自のプレゼンテーションおよび質疑応答における基礎学力、論理性、表現力、他者にわかりやすく伝える意欲のほか、主体性、協調性、コミュニケーション力、リーダーシップなど、将来の理科を専門とする教員に期待される資質・能力を評価します。

グループ活動のイメージ



2026 年度（2025 年度実施）共同教育学部総合型選抜における
「選抜のイメージ」について

技術 専攻

< 1. 面接 >

- ・個人面接または集団面接を行います。面接の所要時間は、個人面接を実施する場合は 10 分程度、集団面接を実施する場合は 20 分程度です。
- ・主に提出された志願理由書、自己推薦書をふまえて面接を行います（基本的な数学や理科、情報の知識を問う口頭試問を含みます）。
- ・技術科を専門とする教員としての資質と適性、思考力、表現力、教育への関心と意欲等を評価します。

< 2. 小論文 >

- ・技術専攻で学ぶ上で必要な、科学、技術、社会や教育に関する内容を出題します。
- ・教職を目指すために必要な基礎学力、論理的な思考力、それらを的確に表現する力および他者に伝えようとする意欲を問うことを主な目的とします。
- ・評価に当たっては、次の三点を特に重視します。
 - ① 問題のテーマをよく理解し得たか。
 - ② 問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。
 - ③ 記述に当たっての論理の運びが正しく、論旨が明快であるか。

< 3. プレゼンテーション >

- ・「志願理由書」及び「自己推薦書」に記載した内容に基づき、スライド(A4 サイズの紙などで作成したもの)5~6 枚程度を 1 枚ずつ順次、大学で用意した実物投影機でスクリーンに投影・提示しながら、活動のハイライトと受験者本人の貢献を各自 10 分程度で発表してもらいます。その後、発表内容に関する質疑(5 分程度)を行うことで技術科を専門とする教員としての資質と適性を評価します。
- ・試験当日は、発表の前に、スライドを A4 サイズの紙に印刷したものを 4 部提出してください。
- ・プレゼンテーションが予定時間より伸びた場合、発表の途中で打ち切ることがあります。
- ・受験者同士での質疑応答を求めることがあります。
- ・プレゼンテーションは一人ずつ行います。
- ・発表の際に自身が確認するための資料等を持ち込んでいただいても結構です。ただし、その資料は紙媒体とします。スマートフォンやタブレット等の通信機器の使用は認めません。
- ・教育への関心と意欲、思考力、協調性等、学校教員になるための資質・能力を問います。

2026 年度（2025 年度実施）共同教育学部総合型選抜における
「選抜のイメージ」について

音楽 専攻

< 1. 面接 >

個人もしくは集団で、提出された志望理由書、自己推薦書、音楽に関する内容や高校で受験生自らが中心となって実施した『探究活動』などを踏まえた面接を行います。

< 2. 実技試験 >

①ピアノ弾き歌い

数曲の課題曲の中から当日指定された 1 曲を弾き歌いします。

②自由曲の演奏

ピアノ、歌唱（無伴奏又は弾き歌いも可）、管弦打楽器などから 1 つの演奏形態を選び、演奏します。

※①②を合わせて、8分以内とします。

※自作曲も可とします。

※演奏する楽器（ピアノ以外）は受験者が持参します。

※伴奏者は帯同しません。

※アコースティックの演奏に限ります。